

(88)

氏名(生年月日)	高橋佳代
本籍	
学位の種類	博士(医学)
学位授与の番号	乙第1615号
学位授与の日付	平成8年2月16日
学位授与の要件	学位規則第4条第2項該当(博士の学位論文提出者)
学位論文題目	骨盤位矯正における温灸刺激の効果について
論文審査委員	(主査) 教授 武田 佳彦 (副査) 教授 大澤真木子, 大川 智彦

### 主論文の要旨

#### 〔緒言〕

近年、産婦人科領域においても東洋医学的治療が様々な形で取り入れられ、その効果と安全性は認められつつあるものの、反面その作用機序には、なお未解明なものが多いのが現状である。著者等は骨盤位矯正の手段として試みている温灸の作用について、超音波パルスドップラを利用して子宮および胎児の血流動態変化を中心に検討した。

#### 〔対象および方法〕

温灸刺激の影響を検討するため、1994年5月より1995年3月までの妊娠32週以降の骨盤位症例57例を対象とし、骨盤位矯正に影響を与える臨床的要因に関して統計的検討を行った。さらに、温灸施行前後の子宮および胎児の循環動態への影響を検討するため、28例の骨盤位妊婦を対象に超音波パルスドップラにて子宮動脈(uterine artery: Ut.A.)、臍帯動脈(umbilical artery: Um.A.)の血流抵抗(resistance-index: R.I.)を測定し、温灸前後の変動を比較検討した。

#### 〔結果〕

1994年5月より妊娠32週以降の骨盤位症例57例中、温灸療法により整復できた症例は35例(61.4%)であった。整復に影響を与える母体側要因として母体年齢、経産数、母体身長・体重、子宮底長、腹囲、また胎児要因として児頭大横径、推定体重、児脚伸展屈曲別、更に胎児付属物要因として羊水量、胎盤の位置、胎盤最大肥厚度、臍帯巻絡数を計測し、分娩時には出生時体重と性別、臍帯巻絡状況、臍帯長、胎盤重量を記録し検討した結果、羊水量と臍帯長が整復率と有意な関連が認められた。更に骨盤位症例28例について温灸療

法前後に血流計測を施行した結果、Ut.A.の温灸前R.I.  $0.487 \pm 0.013$ が温灸後には  $0.441 \pm 0.013$ と有意( $p < 0.01$ )に、Um.A.でも前値  $0.611 \pm 0.010$ から後値  $0.582 \pm 0.009$ と有意( $p < 0.02$ )にR.I.が低下した。これを整復群と非整復群とに分けて検討すると、Ut.A.に関しては、整復群のR.I.は有意に低下していたが、非整復群では有意差は認められなかった。一方、Um.A.に関しては、整復群では低下傾向を示し、非整復群では同様に有意差は認められなかった。一方、胎児への直接的影響についてはアクトグラムによる心拍数と胎動回数の記録で温灸刺激後に有意な胎動の増加が認められた。

#### 〔考察〕

子宮循環抵抗の低下は子宮筋のトーンスの減少に起因していると考えられる。このような子宮筋の弛緩が胎動を容易にさせ、その結果骨盤位整復に有効に作用したと考えられる。

骨盤位症例に対して温灸を適応する効果判定に骨盤内の血管抵抗測定は有用な指標となることが期待される。

#### 〔結論〕

1. 至陰穴の温灸刺激により有意な骨盤位整復率が得られた。
2. 臨床的要因では、羊水量、臍帯長が整復率に関連した。
3. カラードップラを使用して温灸による血流動態変化を観察することにより、つぼ刺激による遠隔の血管抵抗の著明な低下を確認した。

## 論文審査の要旨

本論文は、骨盤位妊娠の温灸療法の効果を経産数・子宮底長・児頭大横径・羊水量・臍帯長など、自己回転に影響すると考えられる母児の臨床所見を統計学的に検討するとともに、超音波ドプラー法により血流動態の変化を検討した。その結果、臨床所見では羊水量・臍帯長が整復率と有意に関連し、温灸の効果は子宮筋を弛緩させて循環血流を増加させ、胎児血流は整復例で増加することを明らかにした。

東洋医学的治療法に近代医学的な根拠を与えた価値ある論文である。

### 主論文公表誌

骨盤位矯正における温灸刺激の効果について

東京女子医科大学雑誌 第65巻 第10号  
801-807頁（平成7年10月25日発行）高橋佳代，  
相羽早百合，武田佳彦

### 副論文公表誌

- 1) 当センターにおける新しい医療機器とその運用システム. 産婦治療 50(5):578-585 (1985) 坂元正一, 諸橋 侃, 仁志田博司, 山田多佳子, 中島由美子, 井口佳代
- 2) 胎児情報. 臨検 30(11):1332-1336 (1986) 坂元正一, 井口佳代, 高木耕一郎, 中林正雄, 武田佳彦
- 3) 周産期管理におけるコンピュータシステムの応用. 東京母性衛生会誌 3(1):12-14 (1987) 井口佳代, 高木耕一郎, 中林正雄, 武田佳彦, 坂元正一
- 4) 周産期管理におけるコンピュータ利用の現状と将来. 助産婦誌 41(3):239-243 (1987) 井口佳代, 高木耕一郎, 中林正雄, 武田佳彦, 坂元正一
- 5) NST 診断の問題点. 周産期医 17(5):657-661 (1987) 井口佳代, 武田佳彦
- 6) 胎児眼球の超音波診断について. 臨眼 46(3):279-282 (1992) 金子行子, 大西裕子, 岡田恵美子, 佐々木幸子, 高橋佳代, 他3名